

新 旧 対 照 表

旧	新										
<p>I 中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p>1 略</p> <p>2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、次の学部、<u>研究科</u>を設置する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">学 部</td> <td style="text-align: center;">経済学部</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>研究科</u></td> <td style="text-align: center;"><u>経済学研究科</u></td> </tr> </table> <p>また、多様化する地域課題の解決及び学生や地域社会のニーズに対応するため、<u>学部学科の設置等</u>を含め、<u>教育研究組織の在り方</u>、<u>新たな学問領域への参画</u>について<u>下関市と協議</u>を行う。</p>	学 部	経済学部	<u>研究科</u>	<u>経済学研究科</u>	<p>I 中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p>1 略</p> <p>2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、次の学部、<u>大学院研究科及び専攻科</u>を設置する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">学 部</td> <td style="text-align: center;">経済学部</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>大学院研究科</u></td> <td style="text-align: center;"><u>経済学研究科</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>専攻科</u></td> <td style="text-align: center;"><u>特別支援教育特別専攻科</u></td> </tr> </table> <p>また、多様化する地域課題の解決及び学生や地域社会のニーズに対応するため、<u>学部学科の新設</u>を含めた<u>教育研究組織の在り方</u>、<u>新たな学問領域への参画</u>について、<u>下関市と実現に向けて具体的に協議・検討を進める</u>。</p>	学 部	経済学部	<u>大学院研究科</u>	<u>経済学研究科</u>	<u>専攻科</u>	<u>特別支援教育特別専攻科</u>
学 部	経済学部										
<u>研究科</u>	<u>経済学研究科</u>										
学 部	経済学部										
<u>大学院研究科</u>	<u>経済学研究科</u>										
<u>専攻科</u>	<u>特別支援教育特別専攻科</u>										
<p>II 教育に関する目標</p> <p>1 <u>学士課程教育の充実</u> 略</p> <p>2 <u>修士課程教育の充実</u> 高度な専門的知識と実践力を併せ持つ人材を育成し、社会へ輩出する。 <u>第2期中期目標期間</u>における教育内容を検証し、<u>カリキュラムの改善</u>を行う。</p> <p>3 <u>リカレント教育への取組</u> 高齢化が進み、また、働き方が多様化する中で、市民が生涯にわたって学ぶ機会が必要とされていることを踏まえ、<u>学士課程及び修士課程</u>において社会人学生の受入や市民の受講などを積極的に行えるよう、体制を整える。</p> <p>4 略</p> <p>5 略</p>	<p>II 教育に関する目標</p> <p>1 <u>学部における教育の充実</u> 略</p> <p>2 <u>大学院研究科及び専攻科における教育の充実</u> 高度な専門的知識と実践力を併せ持つ人材を育成し、社会へ輩出する。 <u>大学院研究科</u>においては、<u>第2期中期目標期間</u>における教育内容を検証し、<u>カリキュラムの改善</u>を行う。</p> <p>3 <u>リカレント教育への取組</u> 高齢化が進み、また、働き方が多様化する中で、市民が生涯にわたって学ぶ機会が必要とされていることを踏まえ、<u>学部、大学院研究科及び専攻科</u>において社会人学生の受入や市民の受講などを積極的に行えるよう、体制を整える。</p> <p>4 略</p> <p>5 略</p>										

旧	新
<p>Ⅲ 研究に関する目標</p> <p>1 略</p> <p>2 略</p> <p>3 研究成果の社会還元</p> <p>研究成果を市の施策や市民の取組などに反映させるため、発表会やシンポジウムの開催に際しては、官公庁、経済界その他広く市民に周知し、参加を促すほか、書籍やインターネットなど様々な媒体を通じた発信を強化する。</p> <p>また、<u>地域共創センター</u>においては、地域資料の収集を引き続き行い、市民に広く公開する。</p>	<p>Ⅲ 研究に関する目標</p> <p>1 略</p> <p>2 略</p> <p>3 研究成果の社会還元</p> <p>研究成果を市の施策や市民の取組などに反映させるため、発表会やシンポジウムの開催に際しては、官公庁、経済界その他広く市民に周知し、参加を促すほか、書籍やインターネットなど様々な媒体を通じた発信を強化する。</p> <p>また、地域資料の収集を引き続き行い、市民に広く公開する。</p>